

## 当院外科におけるエンドトキシン吸着療法の有用性に関する検討

### 1. 研究の対象

2014年1月以降、当院外科でエンドトキシン吸着療法（polymyxin B immobilized fiber column direct hemoperfusion；以下PMX-DHP）を受けた方

### 2. 研究目的・方法

PMX-DHPは、敗血症性ショックなどに対して行われる血液浄化療法ですが、先行研究においては有効性に関して統一した結果が得られておらず、日本のガイドラインでも敗血症性ショックに対してPMX-DHPを使用する推奨度は高くありません。一方でPMX-DHPを契機に全身状態が劇的に改善する症例もときに経験します。

今回、診療の中で得られた情報を使用し、外科症例におけるPMX-DHPの効果・治療成績を後方視的に解析しどのような症例において有用であったかを検討します。またPMX-DHP施行前後でどのような因子の変化が救命に関与したかを検討し、PMX-DHPによる救命の早期予測因子を検索します。

### 3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、身長、体重、既往歴、ASA-PS、バイタルサイン、治療開始日、PMX-DHP施行前情報、手術情報、周術期観察項目、予後等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 外科 新田 英利 （研究責任者）

熊本市南区近見 5-3-1 TEL：096-351-8000

以上